



# 北小だより

ホームページアドレス

<https://www14.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510054>

2024年度 No.3

2024年 6月 28日発行

燕市立燕北小学校

学校ホームページ 2次元コード



## 子どもの声を聴く

校長 小川 泰文

あのね あのね お母さん わたし どうして 生まれてきたか  
お母さんなら わかるでしょ お母さんに はやくあいたくって  
わたし うまれてきたんだよ

令和元年に閉園した燕北幼稚園の歌の一番です。作詞をされたのは教育者で禅宗の僧侶でもある無着成恭（むちゃく せいきょう）先生。燕北小学校の校長は燕北幼稚園の園長を兼務しており、資料が校長室に残っています。先生は作詞の想いを次のように記しています。

人生は出会いです。子どもにとってどんな親と出会うか？どんな先生と出会うか？どんな事件や時代と出会うか？それは一生涯にとって決定的です。よい親になりましょう。よい先生になりましょう。運がいいとか、悪いとか。みんな出会いを生かしたかどうかで決まるのです。

子どもたちにとって、よい先生と出会えたか。自分には程遠いと反省してしまいます。とはいいいつつ、目標であり、精進の日々です。

6年生の教室を覗くと黒板に「目標：相手の話を集中して一回で聞く」と書かれています。全校で取り組んだいじめ見逃しゼロ大作戦の学級目標です。確かに相手の話を聞くことは良好な人間関係のために欠かせません。学級全員で、「途中で口を挟まず、最後までしっかり聞いてあげる」ことをがんばろうとしていました。

私たち大人も、子どもの話を聞くことは大切にしたいものです。忙しいながらも、聞いてほしい子どもの思いを受け止めたいものです。同時に、「聴く」ことはとても難しいものです。子どもは語彙が豊富ではないために、何を伝えようとしているか推し量る必要があります。子どもが言ったことの意図するところを。また、そう言った子どもの背景に何があるかも。

子どもの世界に入って、聴くことをとおして子どもとの距離を縮め、子どもが言いやすい関係性をつくっていくことが大切です。表面的な会話で終わらず、子どもが「この人になら相談できる」という関係でいたいと感じます。

無着先生が亡くなられて7月で1年。例年よりも遅い梅雨入りで、日々体調管理が難しいところ。一方では、雨に群れた緑が鮮やかな季節です。夏の青空を待ちつつ、粘り強く子どもたちに寄り添っていきましょう。

## 土曜参観日 ご来校ありがとうございました

6月15日(土)土曜参観日を実施しました。土曜日の開催ということで、平日では参加が難しい方からも多く来校いただき、120名を超える多くの保護者の方から、お子さんの様子や学級・学校の様子を参観いただきました。

学習参観では、各学年の学習活動をご覧いただきました。授業を観るだけでなく、児童の活動に参加いただいたり、お子さんの発表を聞いていただいたり、親子で一緒に授業をつくるなど、子ども達にとって達成感と喜びのあるよい機会となりました。ありがとうございました。



同日には、多くの保護者が来られるせっかくの機会ということで「避難訓練の参観」と「親子防災教室」を行いました。

前半の「震度6強の大地震を想定した避難訓練」では、休み時間における発災でも自分たちで判断して安全に避難する、全校児童の真剣な姿を参観いただきました。

後半の「親子防災教室」では、燕市危機管理監の十河氏を講師に迎え、実際の地震発生時における注意することや行動のポイントなど、写真を使って具体的に指導いただきました。

また、命を守る行動や家族で備えておくことなど、防災について親子で一緒に考える機会となりました。



なお、次回の学習参観は、9月5日(木)の5限(13:45~14:30)を予定しています。詳細につきましては、後日お知らせいたします。

### 暑い夏を楽しもう! 水遊び・水泳

6月はB&Gプールを利用した「水遊び・水泳授業」を行いました。水と親しんだり、たくさん泳いだり、楽しく活動することができました。監視ボランティアの皆さんに感謝です。

